

「凡人からのSNS起業革命」

—目次—

第1章 どん底からビジネスで大逆転するまでの道のり	24
毒親、摂食障害、希死念慮にまみれた人生。生きづらさを抱え苦しいばかりの不自由な人生だった	24
先の見えない不安ばかりがつのる会社員時代	48
月収300万の旅人に出会って人生変わった話	61
紆余曲折ありながらもSNS上でコンテンツ販売をスタート。月給100万超えを達成	82
SNS起業で真の自由を得る。お金・時間・環境・人間関係に縛られないための最適解を伝授	95
第2章 SNS起業とは？コンテンツビジネスの正体とは？	106
情報発信ビジネスの始め方～コンテンツビジネスの正体～	106
情報発信 × DRM 自動化の極意とは？	112
商売にはSNSが必須な時代	120
「いまから参入しても遅いのでは...と不安です」という疑問に回答	131
第3章 「成功している人」が共通して持っているマインドセット	142
成功までの道のりを圧倒的にショートカットできる方法	142
情報に翻弄されないために。成功するためにやるべきことはただ一つ。	154
3ヶ月猛集中して残りの人生をラクに。最短で人生を変えるには	169
お金が原因で不幸になる人生から決別し、幸せな日々を送るために	173
おわりに 著作権について	182

—はじめに—

こんにちは、りさとです。

あらためまして、この度は

「凡人からのSNS起業革命」

を受け取っていただき、
ありがとうございます。

本書では、
私が生きづらさを抱えていた絶望の状態から事業を始め、
ネットビジネスを極めていくなかで
現在のような理想のライフスタイルを
実現可能にするまでの

道筋・信念・成功の掟や
その具体的な原理原則・SNSを用いたマーケティング戦略など…
かなり有益かつすぐに使える術などをお話していきます。

超本質にフォーカスしているので、

10年後もそのずっと先も使えるような
永久不変の書籍になります。

こちらは、
もともとX(旧Twitter)上で購読数の多かった
人気のコンテンツを最適化し、
更にアップグレードさせたものです。

楽しく読める内容になっていますので、
ぜひ、お時間があるときに
何度も復習しながら読み進めてみてくださいね。

わたしは、
(L)GBTというマイノリティで
社会の窮屈さに思い悩み、

自己否定ばかりの社会不適合者、
摂食障害、そして…毒親育ちという
人生に絶望していた状態からネットビジネスに出会い、

何一つの自信もなかったのに、
わずか数年足らずで
お金・人間関係・環境・時間に縛られない
正に理想としてきた人生を手にかけています。

あらゆる副業を経験しながら
初月に5万の収益化を達成。

その後は
現在のビジネスモデルに出会い
自身の実体験を生かしながら
コンテンツ制作に全力をそそぎ
月10万、30万、100万超えの自動化を達成。

いまでは
月収500万を目標に
さまざまな事業に取り組んでいます。

いつかみた
年収1億円の目標も
夢ではないでしょう。

そんな
人生的にもビジネス的にも
いろんな経験をしてきたわたしが
伝えたいこと。

それは…

もういい加減、

「お金・時間・環境・人間関係」

の悩みから

解き放たれたいよね。

ということ。

お金はあっても時間がない。

時間はあってもお金がない。

時間はあっても
環境に縛られて
身動きが取れない。

お金も時間もある方だけど
職場の人間関係が最悪で、
毎日憂鬱な気分で時計の針を眺めてる。

環境も絶望的だし
お金も時間もなくて
人間関係も悩みが尽きない…

などなど。

とにかく多くの人が
どれかに当てはまっている
この世の中の状況。

『なんて不自由で窮屈な世界だ…』

そう思いますよね。

「お金・時間・環境・人間関係」

このすべてに
縛られない人生を
手にできたときに、

まるで広い空間に
一気に解き放たれるような

本当の自由がまっているんです。

そんな世界線、
“自分には無縁な話だ”
とと思いますよね。

わたしも
たった数年前まで、
まさか自分が
自由な世界の住民になっているとは
夢にも思っていませんでした。

さらに、
こうやって情報発信をして
多くの人に自分の声を届けているなんて

とても想像すら
できませんでした。
(人生ってほんと激変します)

それくらいに
我々日本人は、
日常的に洗脳されつづけて
いるんですよ。

多くの人が
労働が当たり前だと思って
不満を抱えながらも毎日汗水流して
働いている現実。

そのわりに
給料が安くて
負担ばかり増えていく。

馬車馬のように

働いても給料は上がらないし
上がっても雀の涙とは
よくいったもの。

あと何十年こんな生活するんだろう。

まあ、でも

「これが社会人だしな…」

そう無理して思い込んで、
日々消耗していく心に
スッと落とし込んでいく。

こんな人生、
誰が望んでいましたか？

過去のわたしは、

あまりにも不自由で
窮屈な生活に
本当に嫌気がさしていました。

大人になったら…

社会人になったら…

それなりに
人生楽しく過ごせるもんだと思っていたのに。。

現実残酷だな。。

「生きるって痛いことだらけ…」

人生を歩いていくほどに
そうってしまうほど
何度も心の電池が切れかけました。

いま、見てくださってる読者さんも
もっともっと生き方に
疑問をもっていいと思います。

人生って
もっと自由に生きていいと
思うんです。

自由に生きていいのが
当たり前なはずなのに、

いつも何かに縛られ続けているんです。

これに気づけている読者さんは
不自由な人生から抜け出す準備ができている
と確信しています。

本当に、
日本の教育は
生まれたときから
洗脳まっしぐらで

国の奴隷になってしまっている
ということにも
気づかせないような仕組みに
なっていますからね…。

わたし自身も、
真の自由を手に入れてから
どんどんと自由の輪が広がってってます。

現在
わたしの周りにはいる人たちも

お金・時間・環境・人間関係の縛りから解放されて
自由を最大限に謳歌している人ばかりなんです。

好きな時間に起きて
スーツや作業着や制服なんかを
着ることも無縁になり

満員電車や
朝の渋滞に巻き込まれて
時間を気にしてイライラすることも
なくなる。

そんな快適な状態で
作業をするもんだから

もはや
仕事が仕事じゃない感じ。

遊びながら
日々充実した暮らしを
送っているから

作業もグンとはかどり
収益もどんどんと
伸びていくわけなんです。

SNS、情報発信を駆使して
120万ほどの自動収入が
毎月入ってくるようになった友人。

彼は自由人に磨きをかけ、
毎日好きな時間に起きて
ふらりと飲みに出かけたり

ノリでドイツに
旅行に行ったかと思えば
あまりにも楽しすぎて
1週間延泊してきたり

とにかく
毎日どこにいても
自由に仕事ができる状態。

「最近ヒマだから曲でも作るか〜」

なんて趣味の楽曲制作を
本格的に行って、
楽しそうに日々を過ごしています。

わたしもしれっと
曲作りには興味があるので
そのうちコラボで参加したいと
思っています（笑）

それから、
仕事で毎日忙しすぎて
時間がどんどん消費されていくなか
生活にも困窮していた元保育士の友人。

新たな目標もできて
将来のために新天地に移住したものの、
日々の生活を送るのがやっとな状態に
心がポキッと折れそうになっていました。

そんな彼女が心機一転、
SNSの可能性に目をつけ
実体験をもとに情報発信を開始。

健康に特化した発信を
続けていると次第に濃いファンがつき

“心を救われた”

“体調が明らかに改善してきた”

…と感謝の声
届きまくり、

一気に多くの人から
支持されマネタイズも大成功。

いまや、
月収500万超えを果たすほどの
人生大逆転っぷり。

自動化しているから
お金にも時間にも心にも
余裕ができた彼女は

ずっと夢だった
大好きな母親を移住させ、
ともに第二の人生を謳歌することに成功。

移住前は家事に追われ
体調も悪化していく一方だった
母親の健康問題も
あっという間に回復し、

好きな時間に
一緒に旅行に行ったり

母の大好きなブランド店で

「ここからここまでください〜」

と、
まるで映画の

ワンシーンのように
夢にまで見た
棚ごとゴツソリまとめ買いを実現したり

寿司屋で
大好きな赤貝やウニを
お腹いっぱいになるまで頼んだり。

逆に、
何もしないでのんびりとした
贅沢な時間をおもいきり堪能したりと。

とにかく
なんにも縛られることのない
自由をたっぷり堪能しています。

そんな彼女と、
次は教育事業でもやりたいね～

なんて話しています。

25歳という若さで
年収7000万を突破し

学びに貪欲な先輩。

彼は、
数年前まで貧乏に苦しみ
お母さんの病気と借金問題に
悩んでいました。

それから
SNSの可能性に気づき
就職をせず情報発信を始めた結果、
わずか1年で月収300万を達成。

「大切な人になにかあったときに
1億円の治療費がかかるかもしれないから、俺は稼ぎ続けるよ〜！」

彼は話すたびに
そう熱弁しています。

それから、
心にもお金にも時間にも
たっぷりと余裕ができた彼は

社会貢献の意欲がグンと
湧いてきたそうで。

新たな事業をいくつも立ち上げ
今や年収7000万。

仕事はもちろん
遊びにも全力投球の彼は
もちろん男女からモテまくり。

お母さんの病気も回復していき
いまや一緒に世界中を旅行するほど
絵に描いたような
幸福な人生を歩んでいます。

…と、わたしの周りでは
こんなことが日常化していて

わたし自身も
なんにも縛られずに
自由に過ごせる幸せをグッと噛み締めながら
日々を過ごしています。

昔の自分が、
喉から手が出るほど欲しかった
「自由」を手に入れることができ、
めちゃくちゃ自信にも繋がりました。

あんなにどん底の状態
超がつくほどの凡人だったわたしが、
わずか数年でここまで人生大逆転できるなんて。

当時は、安月給すぎて
スタバに入るのも
躊躇してしまうほどでした。

ガラス越しに
ステッカーを貼ったMacbookを
おしゃれにカタカタ鳴らしている
金髪の男性を横目に

(なんか自由そうでいいなー。うらやま…)

なんて心の声が
ボソッと漏れまくってましたね。

お昼休みまでも
自己肯定感が下がるとは…

ほんと、
毎日が窮屈で
つまらない状態でした。

お金がないから
心の余裕もまったくなくて

些細な幸せがあったとしても
まるで目隠しされているかのように

なんにも気づかない。

生きているなかで
あまりにも雑音が多すぎて、

大切なものすら
わからなくなってくる状態でした。

これって
いま考えても怖いですね。
ストレス社会が当たり前すぎて、

“幸せになるのは奇跡に近いこと”

そのような
狂った感覚すら持っていました。

人間誰しも
幸せになるために
生まれてきたのにさ。(切実)

そんな絶望に打ちひしがれた状態から
わずか数年。

SNSを使った

情報発信ビジネスで、

お金・時間・環境・人間関係

に縛られることのない
人生を手に入れました。

あらゆる副業にチャレンジし
ちょっと遠回りをしましたが、

情報発信で
コンテンツ販売をすることが
ネットで稼ぐ最適解であり
正しい道だったんです。

「怪しさ150%やん…」

「そんなうまい話に騙されるもんか」

最初は
猜疑心のかたまりだった
頑固で石頭なわたしも、

新しい価値観を
日に日にインストールしていくごとに、
そのあまりにも効率の良い仕組みに
納得せざるを得ませんでした。

詳しくは
次の章でじっくりと解説しますが、

「こんな世界って本当に実在するんだ」

という新しい価値観を、
ぜひとも自分の中に
入れてみてほしいんです。

こんな世界があるなら
早く知りたかったよほんとに…

わたしにもできることがあるんだ。

インターネットの力って
マジですごいな…

こんなふうには
驚きの連続になりますから。

わたしは、

過去の自分と同じように
人生に悩んで葛藤している人の
救いになりたい。

そして

お金・時間・環境・人間関係
に縛られない幸福な自由人を
増やしていきたい

そう強く思っています。

現状に苦しみを抱えている
誰かの希望になれば
わたし自身も最高に幸せだし

自分をきっかけに
誰かの人生が好転して、
その人がまた別の誰かの
人生を変えるキーパーソンになる…

そんな幸福の連鎖が起こることが
なによりも
嬉しくて生き甲斐にもなります。

そもそも、

インターネットという
全世界と繋がることができる広大な空間で

わたしのページに
たどり着いてくれたというのも本当にすごい。

ご縁のパワーには感謝しかないです。

わたしは、
これからもっと
たくさんの仲間と最高に面白いことや
人を喜ばせるような事業に
取り組んでいきたいと思っています。

いまの時点では
まだぼんやりしているかもしれませんが、
本書を読み終える頃には

より具体的な成功イメージが
グッと掴めてくると思います。

前置きが長くなりましたが

それでは、
第一章に入ってみましょう。

各項目ごとに
スラスラと読める内容になってますので
お気軽に目を通してみてくださいね。

第1章 どん底からビジネスで大逆転するまでの道のり

毒親、摂食障害、希死念慮にまみれた人生。生きづらさを抱え苦しいばかりの不自由な人生だった

「…バタンッ！ドタドタドタッ……」

つい数秒前まで
大好きな海外ドラマを観ながら
口元を緩ませていた自分の顔が、
一瞬にして引きつる。

父親が自分の部屋に近づいてくる音だ。

怒られる心当たりなど
なんにもなくても、
恐怖で動悸がしてくる瞬間。

こんな日々を
もう何十年と過ごしてきただろう。

恐怖も日常化し、

慣れてはいるつもりだが…
つい横になって眠りかけていても
あの足音が近づいてくると
一瞬にして目が醒めてしまうのだ。

潜在的に恐怖が
染みついてしまったわたしの心は
とっくに壊れていたのだろう。

物心ついたときから
毎日浴びていた
精神的支配と
ときどき来る暴力。

—うちの親は、よそより少し厳しめなのだろう—

ぼんやりと違和感を感じては、
家庭内の異常に目を塞ぎ

自分の心のSOSを
完全に無視してしまっていた。

友だちにも親戚にも
誰にも言えず、

“自分の親はいい親だ”

そう自分で自分を
洗脳していたのかもしれない。

生きていくために。

そんな日々を
何十年と過ごしてきて
身についたスキルは、

“やたらと人目を気にすること”

だった。

子どもの頃から
親はもちろん、
周りの機嫌をとることが
癖付いてしまい
いつも他人の言動に心を
ぐらぐらと揺さぶられていた。

「こんなふうには言えよう思われるかもしれない」

「嫌われたかもしれない」

「怒ったかもしれない」

超能力者じゃあるまいし
人の考えていることなんて
分かるわけがないのに

常に他人のことで頭がいっぱい。

いま思えば、
そんなウンザリするような毎日でも
習慣化すればそれが当たり前になる。

当時はまったく気づかなかったけど、
そんな日々にはわたしは
ものすごく疲れていたんだと思う。

高校生になってくると
自分のセクシャリティにも
悩むようになった。

好きになる芸能人やアーティストは
いつも女性ばかり。

染色体の問題？
毒親が原因？

ハッキリとした理由なんて
わからないけど
物心ついたときから
不思議といつも女性に惹かれていた。

でも、そんなこと
誰にも言えるわけがない。

同級生が、
10分休みやお昼休みに
好きな異性や彼氏の話をする度に
苦笑いをしながら話を合わせるようになった。

“その話わたしには振らないでー”

そう心の中で念じながら
話をしなくても不自然じゃないように
ひたすら紅茶花伝を飲んでいた。

最高に窮屈な学校生活だった。

当時は今よりも
マイノリティに対して偏見が強かったし、
とてもカミングアウトできるような雰囲気ではなかった。

だから、
女性が恋愛対象だと自覚しながらも
大人になるまで誰にも言えずにいた。

友だちが出来ても、
自分のことを話したら
引かれてしまうのではないかと怖くて
なかなか心を開けなかった。

彼氏と喧嘩したただの別れただけの、
男子に翻弄されて泣いている
同級生を眺めては、

「恋愛なんてするもんじゃないな」

なんて心の中で冷めた目でみていた
レスビアンの女子高生。

完全に嫌なやつである。

裏を返せば、
そんな青春真っ只中の同級生が
心底羨ましかったんだろうな。

漫画やドラマでよく見る
”普通”の光景が、

わたしにはほど遠いように感じた。

常に生きづらさを抱えた状態。

そして、
家にも学校にも何処にも
心安らげる居場所がない
ノンケを演じる15才。

いま思えば
絶望でしかない。

わたしは
ずっとずっと孤独だった。

そして、
大人になっていくにつれ

「なんのために生まれたんだろう」

「このさき生きていて楽しいことなんてあるのかな」

布団に入って1日を振り返るたび
そんな思いがグルグルと頭のなかを
駆け巡るようになった。

親の抑圧に洗脳され
呪縛はいつまでたっても解けず、

マイノリティな自分を
堂々とさらけ出す勇気もない。

常に人のことばかり考えてきたから
自分のやりたいことや夢がぼんやりしていて、
とにかく自分のことがまったく分からない。

自分のことを
大切に思ったこともないから、

自分なんてどうなってもいい

という思いが年々増していき…
次第に、希死念慮に苦しんでいった。

そんな、
日に日に蓄積されていく
生きづらさを抱えた生活を
繰り返していくなか

ついに
摂食障害を発症してしまう。

※摂食障害＝
“ご飯を普通に食べることができなくなる病気”。

”食べる”という行為が
まったくできなくなる拒食症や

逆に、
異常に食べすぎて
止まらなくなってしまう過食症

そして、
大量に食べたものを
すべて吐き出してしまう過食嘔吐。

これらすべてを
経験してきたわたしは、
大人になるにつれ
どんどん人目を気にするようになり
自分に対する自信も
極端に持てなくなっていった。

そのうちに、
今度は見た目に
めちゃくちゃこだわるようになってしまう。

しかも、

メリハリのある
多少筋肉がついて女性らしい
健康的な体型…

ではなく、

ガリガリに痩せ細り
骨ばったカラダへの異常な執着。

「痩せていないわたしには価値がない」

そう本気で思い込み、

極端に歪みきった思考を
冗談抜きに3年間ものあいだ
ずーっと抱えていた。

拒食症も
進むところまで進んでしまうと

今度は太るのが怖くて怖くて、
飴玉ひとつすら
食べられなくなってしまった。

流動食みたいなものしか
受け付けなくなったわたしの身体は、
もはや目も当てられないほど…
みるみるうちに痩せ細っていった。

だけどココロは、
カラダとは裏腹に
喜びを感じていて

「ほそっ！ガリガリやん！」

「めっちゃ痩せたね！食べてる？」

周りにそう言われるのが
とにかく快感でたまらなかった。

「ガリガリだね」

この魔法のような
言葉を浴びるたびに、

喜びが全身を
駆けめぐった。

しかし
人間の身体とは
よくできたもので、

栄養が行き渡らなくなってくると
身体が飢餓状態になって
脳にSOSを出し、

今度は天と地が
ひっくり返ったかのような
過食衝動が、
フツフツと湧き上がってくる。

こんな
めっちゃくちゃに不安定な状態で
カリカリな体型を維持できるわけもなく、

まるでわんこ蕎麦ばりに
食べものを食い漁っているうちに
みるみるうちに体重が戻ってしまった。

体重計に表示された
おぞましく青く光る
数字に翻弄され
恐怖でパニックに陥ったわたしは、

どうにかして
痩せたカラダを取り戻そうと
ついに、地獄の入口へと
足を踏み入れてしまったのだ。

“食べたい衝動がとまらない”

“吐いたら太らないよね？”

“なかったことにできるよね？”

こうして、
過食嘔吐という絶望が始まる――。

安易な気持ちで踏み入れた世界に
これから3年以上も
生き地獄を味わうことになるなんて
この時はまさか想像もしていなかった。

そうして、
ついに身体はボロボロに。

そのうち
嘔吐衝動に慣れて、
吐けなくなり
パニックになる、の繰り返し。

泣きながら

「こんなこともうやめたい…」

「誰か助けてほしい…」

「今日でやめるって誓ったのに…」

毎日のように
自己嫌悪の渦に飲み込まれていく状態に
事態はどんどんと悪化していく。

心の悲鳴を
誰にも言えず
誰にも頼れず
ひとりで抱え込みつづけていた結果、

とある日の夜――

ついに病院に運ばれてしまったのだ。

検査の結果は、
利尿剤を併用していたことによる
低カリウム血症だった。

まぶたに眩しい光が差し込んできて
ぼんやりと重たい目を開くと

「ピーーーーー」

と、聞き慣れた
電子機器の音が
どこか近くで鳴り響いていた。

救命病棟やコードブルーで
よく耳にしていた
心音が止まる音だった。

(えっ…わたし死んだ…??！)

状況がまったく飲み込めず
一瞬困惑したが、

目が覚めたとき
ちゃんと自分の頬を
触ることができた。

油分がすっかりなくなり
ガサついた指先が
頬をかすめ…感じた浅い痛み。

ちゃんと生きていた――。

しかし、次の瞬間
指に感じた
ものすごい違和感…

！？

四肢麻痺が起こり
手先がグニャリと変な方向に
まがっていたわたしの状態は、

思った以上に重症だった。

ベッドに横になっているのに、
じっとしているのが
とにかく気持ち悪くて
足先がガタガタと常に震えていた。

今にも胃からなにかが
込み上げてきそうなほどに
吐き気が増していくなか、

とにかく、

はやく帰りたくて
仕方がなかった。

親に怒られるのが怖いから。

なにを言われるかわかったもんじゃない。

人に迷惑をかけるなんて
わたしは
なんてダメ人間なんだ…と。

苦しい思いをして
生死を彷徨うような経験をしてもお、
相変わらずの自己否定っぷりを炸裂。

だが、
この経験がのちに
わたしにとって
今後の人生を
確実に大きく変えることになるんだから、

人生って
本当におもしろい。

あんなに
希死念慮に苦しんでいたはずなのに
いざ自分が直面すると、
かなり恐ろしかった。

「どうしてわたしばかりこんなに苦しいの」

「わたしが何したっていうんだよ」

「いいかげん報われたい…」

「死にたいわけじゃない。わたしだって幸せになりたい」

そんな思いが
それ以来かなり強くなったことで、
やっと摂食障害を
本気でやめる決心がついた。

当時は、
摂食障害なんていう
言葉すら知らなかった。

夢中になって
調べていくうちに、

“心の病”

だということを知った。

しかも、
幼少期の愛着問題やトラウマで
発症するケースが主である、と。

抑圧された
心の悲鳴に耐えかねて
身体がSOSを出している。

どう考えても
心当たりしかなかった。

摂食障害や毒親という
言葉を知らなかったわたしにとって

なんだか
心を優しく撫でられているような
ホッと安心できた瞬間だった。

だって、今まで
人目を気にして
生きづらさを抱えていたのは

“自分の生まれ持った性格なんだ”

と、
ずーっと思い込んでいたから。

そうではないと知ったとき、
心の世界が
一気に広がった感じがした。

そんなこんなで、
自分のことを深く知り
自己受容を重ねていくことで

次第に吐くこともなくなり
過度にカロリー計算をしていた
めんどくさい自分も
気づいた時には完全にいなくなっていた。

時間になると
2ヶ月間くらいだろうか。

いつでも自分を追い込んで
絶望にうちひしがれていた
ハードモードだった人生から一転、

心の皮が一枚剥けたみたいに、

以前とは比べ物にならないほど
考え方や生き方が前向きに変わった。

どんな状況でも、
正しい知識さえあれば

人生って自分次第で
いくらでも変えられるんだ

そう思った
最初のきっかけになった。

それと同時に、
環境ってこんなにも人間を
抑圧してしまうものなんだ…
ということ
あらためて強く
実感した瞬間でもあった。

この頃から
親の呪縛も解けはじめ、
仮面をかぶり続けていた自分から
ようやく抜け出し

本来の自分を取り戻すことができた。

巷で有名な
自己啓発的な発信をしている
インフルエンサーや
団塊世代の人たちが、

「なんでも環境のせいにするな！」

なんてことを
やたらと強調しながら
話していたりするが、

わたしから言わせれば
そういう人たちって

自分だけの価値観で
一般常識をザッと
判断しているもんだから、

幼少期から
無意識に親の存在や環境に
ずっと苦しめられてきた人たちの気持ちなんて

1mmほっちも分かんないんだろうなー。

人の痛みがわからない人なんだなー。

そう残念に思ってしまう。

もちろん
自分の選択で人生をガラリと
好転させるきっかけを
掴めるチャンスは
ないことはないんだけど、

まだまだ
生きづらさを抱えて
自立が難しい人たちに

“環境のせいにするな”

だなんて。

ものすごく滑稽に感じて
苦笑いでほっぺたが
つりそうになってくる。

だからこそわたしは、

自分の経験した痛みや
過去のできごとを生かして

“いつかどこかで誰かの役に立てたらいいな”

そんなふう
強く思うようになった。

そして、
いままで失った時間を
取り戻すためにも

人生を思いっきり謳歌させよう
と、心に誓ったのだ。

先の見えない不安ばかりがつのる会社員時代

摂食障害という心の病から
やっと解放された頃、

わたしの貯金は底をついていた。

人生真っ暗闇のなか
外食をするのが苦痛で
友だちにも会いたくなくて、
仕事以外はずっと引きこもっていた数年間。

スーパーで割引シールが貼られている
菓子パンや惣菜を大量に買っては、
毎日大量に消費し続けていた。

それしか楽しみがなかった
当時のわたしは、

もらった給料のほとんどを
つぎ込んでしまっていたのだ。

せっかく
摂食障害という生き地獄から
抜け出せたっていうのに、

お金がなさすぎて
マジで人生で
はじめてくらいの
大きな不安に
襲われてしまう。

いままでは、

“自分の人生なんてどうなってもいいや”

なんて自暴自棄な思考に
飲み込まれていたから

将来のことなんて
これっぽちも考えなかった。

だけど、
そんなわたしが
自分のことを少しずつ
大切にできるようになったことで、

ようやく
将来のことをしっかり
考え出すようになった。
(いや、だいぶ遅い…)

月末に送られてくる
スマホやローンの請求書を眺めては
深いため息をつく。

「支払いばかりで、なんのために働いてるか分かんないな」

そのときのわたしは
月収約16万円ちょっと。

そのほとんどが
支払いや生活費でなくなる。

ほしいものがあっても
我慢するのがあたりまえ。

インスタで流れてくる
同世代の女性たちが
自分とは別世界に
住んでいるように思えた。

だって、
20代でシャネルやエルメスの
バッグを持つなんて
恵まれすぎ…

当時は
羨望にも似た嫉妬で

「20代でエルメスとか似合わないでしょ」

なんて嫌味なことを
思っていたと思う。

いま思えば
かなりダサいけど

そうやって
自分の置かれた苦しい状況から
無意識に現実逃避していたんだと思う。

しかし、
目を背け続けていても
現実は一向によくならない。

気づけば
アラサーになり
悩みや不安は増えていく一方。

朝早くから支度して
常に時間に追われているせいか
化粧するのも億劫で。

朝ごはんも食べずに
会社に向かう中、

理不尽な上司の顔を

ぼんやりと思い浮かべながら
重たい足どりで歩く。

「今日は平和だといいな」

「あー早く帰りたい・・・」

まだ入社してもいないのに
心が拒絶反応を
出してくる。

帰りも遅くて、
いかにも体に悪そうなコンビニ弁当を
レンチンして食べる毎日。

もはや家にいても
上司や仕事や
少ない給料のことで
常に頭の中が
いっぱいだった。

不安と不満が
日に日に募っていくなか、

スキルもないのに転職するのが怖い。

それに、
スキルをつけるために
学習する時間もお金もない。

はあ…

せっかく
摂食障害から抜け出せたのに…

「こんな生活いつまで続ければいいんだろ」

人生たった一度きりなのに、
嫌な人と過ごす時間のほうが多たって

どんな罰ゲームなの？

なんでこんな
理不尽で性格の悪い人が
自分より給料高いの？

なんでこんな
不機嫌をまわりに

撒き散らすような人が
偉くなれるの？

なんでなんでなんでなんで…

すべてが疑問で不満だった。

“給料が安くても昇給あるし正社員だからいいじゃない”

とか

“職場に少なからず嫌な人は付きものよ”

なんて
言う人もよくいるが、

“ストレス社会があたりまえ”

みたいな世間の風潮に
かなり違和感をもっていた。

昇給なんてあったとしても
ごくわずかだろうし、
いつまでこんな奴隷みたいな
生活を続けるのか…

もし自分に
好きな人ができたとしても、
こんなお金も希望もない生活じゃ
相手を喜ばせることもできない。

なにかあったときに
ぜんっぜん頼りにならないし、
不安にさせてしまいかねないよね…

そう思うと、
悔しくて
唇を噛みしめるほど

「労働の限界」を
ひしひしと感じていた。

そんなある日
目を疑うような光景が
スマホの画面に現れる。

いつものようにSNSを徘徊していると、

ふと目に入ってきた文章に
頭に雷が落ちてきたかのような衝撃を受けた。

それは、

『月収300万を自動で稼ぐ旅人』

という文章。

へ????

月収300万って
年収の間違いではなくて？

自動化??

自動的に入ってくる
収入ってこと？

もはや
意味がまったくわからなかった。

意味不明すぎて
マヌケな顔で口が
開きっぱなしだった。

さらに
プロフィールを
読み進めてみると、

国内、海外を放浪しながら
好きな時間に仕事して
好きな時間に遊んでいる

という。

まさに

自由。

正直、
受け入れ難かった。

「そんなうまい話あるわけない。」

「この人は頭が良くてもともと才能の塊なんだから」

そういう
先入観があった。

しかし、
読み進めると
どうやらそうではないらしい。

むしろ過去の自分と
境遇が似ているところが
あるではないか。

それから一気に引き込まれ、
夢中でその人のブログや
メルマガを読み漁った。

気付いたときには
興味のなかったビジネスの記事まで
食い入るように読んでいる自分。

「信じられない...」

「え...？こんな世界あるんですか？」

まさに
自分が理想としていた
人間関係や環境に
縛られることのない

時間もお金も
たんまりとある状態。

そして自由人。

完全なる自由人。

こんな世界があるなんて
知りもしなかった。

それから
わたしの人生が、
大きく動き始めるのである。

月収300万の旅人に出会って人生変わった話

相変わらず
理不尽な上司に
耐えながらではあるが、

SNSで見つけた例の旅人に
ひたすら夢中になっていた。

まるで
ストーカーのごとく
彼の情報を追いかけた。

趣味や好きな食べ物、
苦手なことまで
とにかく彼のあらゆる情報を
インプットしていった。

恋人でも芸能人でもないのに
こんなにも人に夢中になるのは
いま思うと、
人生初だったように思う。

「この人のブログ面白いし普通にタメになるなあ…」

はじめは
境遇が似ていたところからも
惹かれていったのだが、

彼の人間性を
好きになっていくうちに
わたしの心はみるみる
好奇心にまみれていった。

だって
月収300万なんて
そんな現実ある？

いったい、わたしの何倍？

ザッと計算して18倍…

羨ましいを乗り越えて
ただただ興味しか
湧かなかった。

値段を気にすることなく
買い物や外食に行けたり

最新機種のスマホが出るたびに
サクッとノリで買い替えたり

いつもいつでも
支払いに追われていたわたしとは
完っっ全に真逆の生活。

しかもPC1台で
あたりまえに出勤なんかしなくても
どこにいても
自動で利益が生まれているという…

まったくもって
信じられない世界線だ。

20代にして
どうしてそんなに幸運なんだろう。

常識が一気に

破壊された瞬間だった。

“なにがどうなってそうなるの？！”

と、どうしても
深く知りたくなり

意を決して
一か八かコンタクトを取ってみると

なんと、快く
しかも詳しく
その仕組みを
教えてくれたのだ。

あまりの親切ぶりに
感動もしていたのだが、
なんだかちょっと違和感…。

不安と期待で
徐々に脚もガクガク
してくるし。

だって、
考えてみれば
いきなり聞いてきた
よく知らない人に対して、

こんなに親切に
しかもすんなり
教えてくれるだなんて
なんだか怪しい…

そう思ってしまった。

だけど、
話を聞いていくにつれ
すぐに納得した。

そして
彼はこう続けた。

“自分をきっかけに幸福になる人が増えることは良いこと”

“そういう人たちが稼げるようになればなるほど社会貢献にもなるし、
めぐり巡って自分の利益もさらに増えていく”

・・・。

・・・・・・。

この人神様かなんかかな？

本気で
そう思った。

おそらく年下なのに、
精神年齢があまりにも
高すぎて

同時になんだか
自分が恥ずかしくもなってきた。

この人が女性だったら、
恋していたかもしれない。

(という冗談はさておき…)

そのぐらい
素晴らしい思考を持つ
人格者だった。

どうやら彼は
インターネット上で様々な
事業を展開しているらしい。

その中でも
自分の商品（コンテンツ）を
何個も持っていて、
それで月300万ほどを
自動で販売しているとか。

「ほう！そういうことか！」

とサラッと言いたいところだが、

最初は、
まったくもって
なにを言っているのか
さっぱりだった。

自分の商品？
コンテンツ？
それを売る？
どうやって？

自動化って…
全然頭が追いつかない…

いまのわたしなら

その仕組みを
一瞬で理解できるのだが、

その時のわたしには
自分のなかに
そんな価値観も当然なく
あまりの衝撃に
ただただ目を丸くするしかなかった。

でも、
彼が言っていることは
まぎれもない現実だ。

しかも
自分と同じ境遇。

彼は
もともとネットの才能が
あったわけじゃないみたいだし

高学歴でバリバリのエリート

というわけでもない。

生まれも
ごくごく普通の家庭。

家がお金持ちでもないから
軍資金を出してもらった

とかじゃなさそうだし…

そもそも、
彼のやっているビジネスは
コストに関してはほぼかからず、
資金的なリスクもないという。

なんじゃそりゃ…

と思う反面、

「もしかしたら、わたしにもできるかも？」

という熱い思いが脳裏をよぎる。

この人と同じ世界線に行けたら、

いまの生活から抜け出せる。

何にも縛られることのない
生まれ変わったような自由な人生を
手に入れられるのではないか

そう強く確信してしまった。

ここで、
もしも
こうやって
成功している人が

“早稲田卒です”

“慶應卒です”

“ハーバード大卒です”

なんて言い出していたら

「ですよ〜…はいはい」

って
ため息つきながら
即効ブラウザ閉じてるけど、

自分と同じ凡人(失礼)が
ここまで大成功して
人生大逆転させてるんだもの。

そう思うと
心が震えあがるほど
気持ちがみなぎってきたのだ。

しかし、
ここでひとつ問題が発生。

大まかな仕組みまでは
教えてもらえたものの、

さらに詳しく
奥の深いビジネスを学びたい...！！

そう思っても
弟子やコンサル生を
募集しているようなことは
一切書いていなかったため、

はて...
どうするべきか
踏みとどまっていた。

そんなある日。

「ピロローン...！」

彼から一通のメールが届く。

『コンサル3期生を募集するが
参加しますか？』

的な内容だった。

しかも、なんとこれ
特典がついていて
彼と直接話ができる...と！

おお、マジか！

きたぞこれ！！

そう思うと、
心が踊った。

こんなにも
人間性に惹かれまくっている
神様みたいなマインドを持った彼と

申し訳なさ交じりで
文字のやりとりを
数回させていただいてはいたが...

まさか、まさか

そんな彼と
直接声を聞いて
話ができるなんて、

めちゃくちゃ最高じゃないか。

申し込むに決まってる！！

そう意気揚々と意気込んで、

ふと
参加条件に目を通すと・・・

「コンサル生の参加費は半年で30万円です」

と記されていた。

「ちょっとまって。30万って、、、」

「これさ、仮に払ったらその瞬間に連絡とれなくなるやつじゃないの？」

一瞬、詐欺まで疑った。

しかし

彼のメルマガもブログも
とにかくすべてが最高に面白いし、
画面越しに深く頷くことばかり。

なにより、
実名どころか
顔写真も無邪気にだしていて...

そんなどうしようもない
詐欺なんてするだろうか？

とも思ったのだ。

悩んだ。

とにかく悩んで悩んで。

もう頭抱えすぎて
吐き気がするくらい、

それはそれは

ひたすらに、
悩みまくった。

そうやって悩み抜いた結果...

半年で30万円のコンサル3期生に
申し込むことを、

わたしはついに決意したのだ。

それは、
このまま労働だけ続けていても
小さなビジネスすらも
自分の知識だけでは
作れるようにならないだろう、

だって、そもそも
自分が経営者になって、
あわよくば今の仕事をやめたとしても
今のようにお金に困る生活から抜け出したい...！

という
ゆるがない想いがあったからだ。

(それに加えて、ちょうどその時期がボーナスが出るタイミングだったので、一時だけでもひたすら休日出勤すれば30万は1ヶ月でも取り戻せるだろうなという、もう一人の自分からの後押しもあった。)

それにしても...
今でも鮮明に思い出すが、
30万をATM振込で入金するまでは

そりゃあ、もう
心臓がドクンドクン。

とにかく手どころか
足先まで震えた。

しかも、その震えは
止まらないどころか、
どんどん大きくなるばかり。

だけど、
わたしはどうしても
コンテンツビジネスに挑戦したかった。

絶対に、
お金持ちの時間持ち
という
【真の自由人】になりたかった。

やりたくもない労働ばかりを
繰り返しやっている今の生活を、
どうしても変えたかった。

だからこそ
勇気を振り絞って、

「振込み」をタップした。

そうだな。

なんだか、
いざ終わってみると
不思議と...

ある種の達成感というか
ふわふわとして
気持ち良くなっちゃってる
自分がいた。

というか、

「ふふ。ついに、やっちゃったなあ～♪ま、なるようになるさ、へっ…」

みたいな(笑)

もはや諦めのような
感覚だったかもしれない。

しかし、

結果的に、
彼のコンサル生に
申し込んだのは大大大正解だった。

ここから、
わたしの初めての副業が始まった。

わたしは彼から、

文字通り
"軍資金が0からでも始められるビジネスの仕組み化"
を教えてください、

「自分が労働しなくてもお金が自動で稼げる仕組み」

を作るために
とにかく手を動かしまくったのだ。

とはいっても
特別難しいことはしていない。

たとえば、
自分の過去の経験を記事にしたり
コンテンツを作成したり
個人のSNSやブログを開設したりしただけ。

誰でも簡単に始められる

とはよくいったもので、

今の時代

自分でビジネスをやるハードルって
こんなにも低いんだな

そうあらためて
実感させられた。

そして、
ビジネスに挑戦していく中で
人生ではじめて
"やりがい" というものを
強く感じた。

自己否定ばかりで
ずっと生きづらさを
抱えてきたわたしでも、

誰かの役に立てる。

むしろ、
そんなつらい経験が
あったからこそ
人の心を動かす
原動力になるとさえ思えた。

「わたしにもできるんだ」

夢が現実になったのだ。

そうして、
ついにネット上で
1万円の収入を得ることに成功。

それから
2ヶ月も経たないうちに
10万円の収益を突破。

はじめの第一歩ではあるが、
彼が見ている景色を
ついに同じステージで
見ることができたのだ。

ずっとずっと
自分に自信のない人生だったのに

自信のみならず、
キラキラとした希望も
心の底から湧き上がってきた。

「もう嫌な上司の顔を見なくて済むかもしれない…！」

そう思うと
心がスキップするように
躍る毎日だった。

紆余曲折ありながらもSNS上でコンテンツ販売をスタート。月給100万超えを達成

“ネットを使って収入を得る”

ほんの少し前まで、
非現実的で自分とは無縁だ

そう思っていたことが

本当に現実に起きた。

"お金を稼ぐためには働きに出るしかない"

と、ずっと思い込んでいて
それが世の常なんだと
思っていたから。

そんな
自分のこれまでの価値観が
全てひっくり返されるような
人生で初めての一大イベントを
無事成功させたわたしは、

その後、
好奇心から
様々な副業に挑戦していくのである。
(いま考えるとただの迷走だった汗)

物販、せどり、ブログ、文字起こし、
ブックメーカー、仮想通貨などの投資etc..

いまどき
いろんな副業があるけれど
結論からいうと、

正直どれも
長続きさせることはできない。

それに、
これらの副業では
真の自由は到底得られない。

だって、
物販やせどりは
とにかく仕入れや発送業務に
時間を取られるし、

ブログは、
永遠と記事を
更新し続けたいといけない。

しかも
収益化までの道のりが
あまりにも遠すぎる。

文字起こしも
ある意味、時間との戦い。

そして、
どれも薄利多売。

時給換算してしまったら最後。

「こんなに時間使ったわりに収益少ないな・・・」

そんな不満がつのりに募って
結果的に疲弊していくハメに。

仮想通貨に至っては
お金の余裕がある人が
手を出す世界であって

生活していくお金だったり
なけなしのお金だったりを
投資するもんじゃない。

そんな感じで
あらゆる副業に
興味本位で参入してみるも、
結果的に
どれも長続きせず
どれも失敗に終わった。

まあ、いま思うと
失敗の積み重ねが
自己を成長させるスパイスになるので
いい体験だったとは思う。

しかし、
いま話した副業たちは
ビジネスをやる上で
まったくもって理想とは
ほど遠い選択。

だって
わたしが心から得たかったのは、
時間にも環境にも人間関係にも
縛られずに

自動で
お金が入ってくる状態。

寝ている間にも
遊んでいる間にも
お風呂にゆっくり浸かって
ぼんやりと夢を
膨らませている間にも、

収入がポンと入ってくる

真の「自由」に包まれている――。
そんな理想の状態。

そんなわたしの理想を
現実のものにしてくれたのが、

「情報発信ビジネス」

そんなバカげた話あり得ないでしょ・・・

そんなうまい話があったら苦労しないわ・・・

こうやって
手に掴みそうなチャンスを
何度も取りこぼしていた
過去の自分を、ふと思い出しては

ぶん殴りたくなる。

もっともっと早く
知りたかったー。

そもそも
情報発信ビジネスって
わかりやすく説明すると、

SNSなどを使って発信。
影響力をつけていく過程で、
情報を必要としているお客さんを集め
適切な商品・コンテンツを案内していく

というビジネスの形。

コンテンツビジネス
とも呼ぶ。

しかも
このステップは
仕組み化が可能なので
”完全なる自由”を
手にいれることができる

というわけだ。

世間一般的には、
コンテンツといえば
映画や漫画などの
「エンタメコンテンツ」
を指すことがかなり多い。

しかし
わたしが行なっている
コンテンツビジネスは、
それらエンタメビジネスとは一線を画している。

一言で言い表すなら

コンテンツビジネス＝情報ビジネス＝
情報を売買することで
お金を稼ぐビジネス

だということ。

たとえば、
身体のしくみや健康について
人よりも詳しくしたとする。
(詳しくなるために勉強するのもアリ◎)

そこで
まず始めに行う作業は

SNSを開設すること。

そして健康についての知識や
実体験を元にしたビフォーアフターの
ストーリーなどを発信していく。

すると、
"同じ症状で今もなお悩んでいる"
といった人たちが興味を抱き
どんどん集まってくる。

そこで
「わずか3ヶ月で〇〇が改善する方法」

といったオリジナルコンテンツを作る。

〇〇の中身は例えば
持病、肩こり、O脚、
いびき、睡眠時の食いしばり、
メタボ、視力、ほうれい線

などなど。
(ほんと人の悩みって色々あるよね)

それを、
テキストだったり

動画だったり
音声だったり

しっかりと
価値を凝縮したコンテンツにして

あとは、
SNSで商品を案内していただく。

仮に3万円だとしたら
10人に売れたら30万円。
50人に売れたら150万円。

自分だけの
オリジナル商品が
必要としている人に
とどく瞬間は感動ものである。

自分が過去に
人生を投げ出したくなるほど
苦しんだ実体験が、

同じ悩みで
いまもなお苦しんでいる
この地球上の誰かの
役に立つことができる。

こんなに嬉しいことはない。

感謝のメッセージが届くたびに
心の絆創膏がペリッと剥がれていく感覚。

ビジネスを通して
やり甲斐どころか
生き甲斐を全身で感じまくっている。

そんなSNSの発信も
流れを掴んできたなら、
外注化したり
ツールに任せたりして
自動化していく。

それで自由な時間が
たっぷり増えてきたら
新しいことに挑戦するのもよし、

大切な人と
旅行や趣味に励むのもよし、

収益を伸ばすために
さらなる学びに
自己投資するのもよし…

とにかく
選択肢がどんどん増えていく。

いままで
時間もお金も心の余裕もなく、
まるで金縛りにでもあっているかのように
身動きがとれなかった
そんな奴隷のような日々とは、
綺麗さっぱり決別できるのだ。

一度目を通しただけでは
まだよく分からないかもしれないが、
少しだけでもイメージが湧いてきていると嬉しい。
(より詳しい話はこれからメルマガ内で話していこうと思う)

わたしは
このビジネスに出会ってから、

自分の過去の体験をベースに
日々価値のある話を発信するなかで
わずか数ヶ月で通知音が鳴り止まないほど
影響力があるアカウントを完成させた。

そしてある日、
実体験やノウハウ
ロードマップをまとめたコンテンツを作成。

求めている人に
販売することにした。

当時は不安もさながら

期待に胸をふくらませ、
手がカタカタと震えていた。

だって
今まで喉から手がでるほど欲しかった
「自由」を手にするかもしれないのだから。

しかも、
人に喜ばれながら。

画面の向こう側にいる人の
人生を好転させて、
笑顔を増やせるきっかけになれる。

まちがいなく
自己肯定感爆上がりだ。

そんなことを妄想しながら
いざ販売開始。

すると数分も立たないうちに

「〇〇が購入されました」

という通知が。

「えっ。……え———！」

驚きと歓喜で心臓がバクバク。

飛び上がるほど
こんなに嬉しい瞬間って
いままであったらうか？

さらにまた数分後に
購入されたのメールが届き
感激が積み重なる。

そして、
これは紛れもない現実だと
胸が熱くなった。

記念すべきこの日の感動は
一生忘れることはないだろう。

最終的に15部販売され

日給30万を達成することができた。

いままでの感覚だと
約2ヶ月分の給料を
わずか1日で得たということ。

ここまで見てくれている方は
驚きの連続だろうが、
当時のわたしも
開いた口が塞がらなかった。

“まるで夢のなかにいるみたい...”

そう思いながらも、
あらためて真の自由を手に行けることを
確信していったのである。

**SNS起業で真の自由を得る。お金・時間・環境・人間関係
に縛られないための最適解を伝授**

もともとSNSは、
情報収集や見る専門で
これを仕事にするなんて
昔は考えもしなかった。

しかし、
SNSで発信することに慣れてきたら
毎日がとにかく
楽しくて仕方がなかった。

たった一つのメッセージでも
だれかの役に立てる――。

そんなSNSと、
それを実現させてくれる
今の時代に感謝するばかりだ。

そんなこんなで
ジャンル違いのアカウントを
他にも複数開設したりして
さらに発信力を高めていった。

そして、
メルマガやシステムと組み合わせ
月収100万超えを突破した。

完全なる自動化だ。

いままでの感覚だと
まったくもって信じられなかった。

しかも、
これまた凄いことに
そうやって
SNSで発信して人を集めていくことも
商品をつくることも、
すべて無料でできてしまう。

開業資金に
何十万と掛かるビジネスがある中で
情報発信ってほんと画期的だなと
つくづく思う。

わたしは
月収100万超えしてきたあたりから
大好きなオーガニックスーパーに
躊躇なく行けるようになった。

なぜ”躊躇なく”
なのかは単純に、
そういったこだわり食品は
なかなか高いからである。

自分を大切にしていなかった頃は
食べるものまで適当で
内臓も肌も荒れ放題。

そんなわたしが、
自分を大切にできるようになって
食べものにまで気をつけている。

本当に良いものを選ぶと
肌も綺麗になるし
食べものが原因で体を壊すこともない。

そんな選択が
できるようになったのも、また
このビジネスで収入を自動化できたおかげだ。

仕組みさえ作ってしまえば、
寝ている間にも5万発生していたり

親戚を大分の温泉旅行に
連れていっている間に
10万使ったとしても、

帰りの車の中で
20万の収益が発生している通知が

ピロンと届いたり。

もはやどこにいても
収益が発生し続けてしまうのだ。

冒頭の話をおぼれてしまっている
かもしれないからもう一度言うが、

あんなに人生に絶望していて、
生きづらさを抱えた何のスキルもない
ただの凡人だった、このわたしが
ここまでこれたのだ。

「りさとさんだからできたんでしょ？賢いからでしょ？」

と思うかもしれない。

だけど、
まったくもって賢くもなんともない。
むしろ頭の回転も遅い方だし、

中学時代に家庭教師を
付けてもらっていたが、
先生も頭を抱えてしまうほど

問題の理解力もかなり低かった。

あんまり言うと恥ずかしいから
ここだけの話にしておくね。

まあ紆余曲折ありながらも…

いまでは
同じビジネスで知り合った
気の合う仲間と
定例食事会で情報交換しあったり、

翌日に開催される
東京のイベントに誘われ
昔じゃ考えられないフッ軽で
ノリで参加したり、

もともとオフラインで
繋がっていた友達にビジネスを教えて
マネタイズを成功させたり、

自由を極めた者同士で
旅行している最中

「おっ？5万の通知！」

「わたしも今日9万だよー！」

みたいなやりとりが、
日常的に起こっているのだ。

SNSのレバレッジの力は、
間違いなく
マリオのスター状態。

凡人に与えられた
最大のチャンスでもあり、
控えめに言っても
今世紀最強の仕組みだと思う。

ん??

レバレッジって??

なにそれ？
なにかの工具用品？

ワークマンにありそうなやつ？

そう疑問で
頭がいっぱいな方に
ササッと説明していく。

レバレッジとは、
テコの原理のこと。

わかりやすくいうと、

1の力で100の結果が生まれる

ということだ。

わたしは、
過去に勤めていた不動産会社で
営業職をやっていたが、
1日に訪問できる数は大体決まっている。

朝一から夕方まで営業まわりをするが、
移動時間や昼休憩をのぞいても
せいぜい1日8件ほど。

気合いで10件まわれたとしても

精神的にも肉体的にも
なかなかキツイ。

8件でさえ正直つらい。

足も痛いし、
もはやつらいを乗り越えて
ムシャクシャしてくる。

会社に戻って仕事とかもザラ...
そのまま帰りたいわ
もう無理だー。

そう何度も思い
毎日が疲労困憊だった。

そんななか、
SNSのレバレッジというのは
ひとつの発信をするだけで
何百人、何千人、何万人に見てもらえる。

自分の経験を活かした話や
マインドやストーリーを織り交ぜながら
コツコツと発信していくだけで、
いつのまにかネット上に広がっていき
自分のファンになってくれる人が
永遠に増え続けていく。

すると、
商品がいつのまにか
また売れていく。

要は、
SNSでの発信や
ブログ記事やメルマガが
自分の分身となり、
寝ている間に働いてくれるというわけだ。

はじめは、
100人や1000人に届くくらいだとしても
そのうち1万人、3万人、10万人に届くのだ。

3万人ってどれくらい？
と思うだろうから調べてみた。

例えていうと、
福岡paypayドームの1.5個分。

横浜スタジアム1個分。

ちょっと説明が頼りないが(汗

有名なアーティストのliveに来ている
お客さん全員に自分の発信が届いていく感じ。

こんなこと普通なら
ありえない。

リアルタイムで営業職をしているのが
バカみたいに思えてくるほどの破壊力。
(もっと早く教えてほしかった)

このレバレッジの力のおかげで、
朝からせっせと出社して労働する
なんていう概念がぶっ飛んでいくことが
なんとなくイメージできたかと思う。

だから、
寝ている間にも
旅行に行っている間にも
収益を生み続けてくれる、
というわけだ。

生身の人間の行動量だと
どうあがいても数に限界があるが、

レバレッジを働かせてしまえば
自分の分身が何万人に営業しに
行ってくれる。

こんなビジネスモデルが
稼げないわけがないよね
という話。

さきほどもお伝えしたように
世の中には様々な副業があるわけだが、

やはり、
SNSでの情報発信
コンテンツビジネスが最強なのである。

第2章 SNS起業とは？コンテンツビジネスの正体とは？

情報発信ビジネスの始め方～コンテンツビジネスの正体～

ここまで真剣に読んでくれた方。

本当に情報感度が高くて行動力がある。

本当にそれだけでも、
めちゃくちゃすごい...！

それに、それだけ
原動力を奮い立たせる何かが
日常に潜んでいる、
ということ。

“いや、べつに見るのぐらい普通だよ”

そうやって
自分では思うかもしれないが、
世の中の実に9割は
ビックリするほど行動することができないー。

そんななか、
この書籍に出会ってくれたことで
あなたの人生が
少しでも変わるきっかけになれたのなら、
わたしは最高に嬉しい。(切実)

さて…

ぼんやりとでも
流れを理解できてきたかなと思う。

これまで
自動化やら労働の概念やら
話をしてきたが、

コンテンツビジネス
すなわち情報発信ビジネスは、

お客様の人生を
確実に「良い方向」へと導ける
ビジネスである。

もちろん
「価値」のある情報

というのが重要。

たとえば、
日本中のどこにでも生えているような
雑草に対しては、

おそらく
ほとんどの人が
「無価値」だと感じるだろう。

しかし、

「自分の人生がめちゃくちゃ良い方向に変わるようなこと」

に対しては、
ほとんどの人が
「とても価値がある」と感じる。

これが、情報発信
コンテンツビジネスにおける
最重要ポイントなのだ。

なので、
わたし達ビジネスパーソンは、
「顧客の人生のターニングポイントに立つ」
ということを意識していくことが
実はとても大切になってくる。

と聞くとなんだか
難しそうに聞こえてくるだろう。

「そんな大役わたしにはハードルが高すぎる...」

「なんの取り柄もない凡人のわたしが誰かの役に立てるのかな...」

以前のわたしも
そんなふうに考えてしまっていた。

だけど、

凡人で人目を気にして
生きづらさを爆発させていた
わたしの過去の実体験は、

実際に、同じ境遇で
悩みを抱えている人たちの
役に立てたのだ。

ちゃんと、
届けたい層に発信していき
しっかりと価値を届けていくことができれば、
もうそれは
立派な情報発信なのである。

たとえば、
夜も眠れないほど大失恋をした経験が
過去にあったとしよう。

こういうのって
時間が経てば経つほど
心が回復していったり

あの時ああしていれば...
あんなことさえ言わなければ...
もっと寄り添うことができたなら...

なんて自問自答を繰り返し
手さぐりで最善策を
考え出しただろう。

つまり、
失敗や「痛み」があるから
人は日々成長していけるのだ。

そんなふうに
一度失恋した過去の経験は
いま現在恋愛に悩んでいる
多くの人の役に立てる、
というわけだ。

人生は、
「もっと早く知りたかった」の連続。

知らないままで
ずっと損をしていたり
長い間遠回りして時間を失ったり、
とにかく知らないことだらけなのだ。

だからこそ、
需要があるユーザーに向けて
しっかりと価値がある内容を
発信していけば

おのずと
収益化を達成
することができるのである。

情報発信 × DRM 自動化の極意とは？

情報発信をしながら
自動で利益が生まれる状態にするには
ある組み合わせが重要になってくる。

それが、DRMである。

なにそれ？
音楽機材かなにか？
ドラム？ドラムロゴス？

そう頭の中が
ハテナでいっぱいになってしまう前に
わかりやすく説明していこう。

DRMとは、
ダイレクトレスポンスマーケティングの略である。

見込み客を集客し、教育し、販売する。

マーケティング手法のひとつだ。

人を集めて
価値観などの教育をして
適正な商品を販売していくというわけだ。

(今はまだボンヤリと読んでいただいて大丈夫。)

たとえば
あのかの有名なドモホルンリンクルなんかもそう。

CMで無料サンプルを配布して
連絡先をいただく。

これが集客。

つぎに、
無料サンプルで
効果をしっかりと実感してもらおう。

これが教育。

そして、

納得して購入&定期購入に割引を入れて
リピート購入につなげる。

これが販売である。

どうだろう？

なんとなく分かってきたらどうか。

わたしの例を話してみよう。

先日、

わんこと行けるカフェを探すために
ネットで検索したら
いい感じのお店をいくつか見つけた。

そのなかでも

より雰囲気良さそうなお店に絞り
そこに行った人の投稿も見たくてインスタに飛んだ。

居心地がよさそうなのと

ガヤガヤしてなさそうなのが良くて
ここに行く決めてフォローをポチッと押した。

これこそが集客。

さらに、
お店の看板メニューや
わんこのメニューを見たり、
お店のクチコミにお店の人が返信しているのを見たり。

公式LINEにも登録し
行く気満々でクーポンもゲット。

さっそく電話で予約をしたところ、
お店の人の親切で温かい対応に心をうたれ
なおさら当日が待ち遠しくなる。

これが教育。

そしていざお店に到着すると
雨のなかわざわざ外まで出迎えてくれたり
ひざ掛け用のブランケットをもってきてくれたり
お店の人がとにかく優しくすでにファン化。
(これも教育)

メニューの説明を聞いたのち
オススメの料理と
わんこご飯を注文。

待っている間に
店内に置いてあるわんこ用品にも目がいき
ここにしかないフードやおもちゃも併せて購入。

これが販売となる。

食事も抜群に美味しくて
動物にもやさしくて
すべてが心地よい大満足の1時間半。

その後も、
新メニューの案内や
誕生日クーポンがきたりして
すでに何回かリピート済みである。

これが
世の中の購買行動の流れだ。

美容院に行くときも
エステに行くときも
買い物や旅行など、
なんでもそう。

セールスの本質は、
実店舗でも通販でも
ネット上でも同じ。

こんな感じで、
現代のほとんどの商売は
集客×教育×販売で成り立っているのだ。

つまり、
この「集客×教育×販売」の組み合わせを
情報発信でもやっ払いこうというわけだ。

むしろ
SNSで情報発信ビジネスを
「成功」させるためには、
必要不可欠だといえるだろう。

しかも
実店舗など
オフラインのビジネスと違って、

SNSの情報発信ビジネスは
このすべての工程を自動化できる。

予約投稿ツールを使ったり
外注化したり

収益が発生してきたら
広告費にまわして
集客を自動化したり。

仕組み化に強いビジネスだからこそ、
「自由」を手にいれられる。

ほんと、
凡人が大逆転できるこの時代に
生きれていることに
めちゃくちゃ感謝しかない。

この幸運をぜひとも掴んでほしいと強く思う。

ちなみに、
あまりにも価値が薄っぺらい
質の悪いコンテンツを出してしまうと
当たり前だけどユーザーは離れていく。

もしわたしが
普段から中身のない
微妙なコンテンツ(面白くない)を
出していたとしたら、

この書籍が、こんなにも
多くの人に見られることもなかっただろう。

まるでスカスカおせち事件
みたいな感じで、

ガッカリされて
離脱されていく末路を
辿っていたんだろうなと
つくづく思う。

そうそう。
レモン市場という言葉があるが、
品質の悪い商品(レモン)ばかり流通すると
あらゆる問題が生じて、

信じられないくらい
特大の大目玉を食うことになるから、
ここだけは絶対に気をつけてほしい。

それとは反対に、

コンテンツの質が
高ければ高いほど
集客と同時に教育も
実現できるようになる。

ここら辺の詳しい話は
メルマガ内で深掘って解説していくので、
ぜひとも見逃さずにチェックしてほしい。

商売にはSNSが必須な時代

いまの時代、
SNSが集客の軸
といってもいいぐらいに
かなり重要なツールとなってきたのは明白だろう。

わたしの地元にある
有名な居酒屋さんの話をしよう。

そのお店に初めて足を運んだの
は7年ほど前。

そのお店は少し変わっていて、
営業中に突然競りが始まったかと思えば
その日旬な海鮮物をお客さんに振舞ってくれたり

2時間ごとに
ダンスやお笑い、マジックなど
各テーブルをまわりながら披露する
めちゃくちゃおもしろいショーが始まっちゃったり、

とにかく斬新なイベントがウケて
口コミが広がり、
すぐに人気店となった。

しかし、
コロナの影響で客足が遠のき
あっという間に売上が激減。

そこで、
来客が途絶えた時期を
なんとか乗り越えようと
SNSに力を入れ始めた。

すると、
またまた一気にバズリ
客足が戻ることで、

売り上げがなんとコロナ前の
4倍まで伸びるところか、
リピーターやお店のファンも
コロナ前より爆増した。

おそろべき破壊力...！！

このように
時代がガラリと変容するなかで
もはやSNSをしない方が、

リスクにすらなり得る。

SNSを活用して損はないし、
これからの時代
集客とSNSは、
ますますセットになるだろう。

ローカルな道の駅や施設などもそう。

そこにしかない旬の良いものや
それこそ地元の人しか知らないような
隠れた美味しい名品たちを置いているのにも関わらず
知名度が絶望的に低く、地元の人しか訪れない...

しかし、
SNSを使うことで
全国津々浦々から
魅了されたファンがやってくる。

そして、
新規のお客さんが増え続け
売り上げもグンと増加し、

経営にも余裕ができることで

さらにお客さんが喜ぶようなことも
企画として考えることができるのだ。

お客さんも経営者も喜ぶし
本当に良いことだらけ。

ネットでビジネスをやる場合も
SNSは大きな力を発揮してくれる。

SNSなんか使わなくても
広告さえあればいい。

みたいな考えの人も
いるだろうが、

重要なのは
濃いファンがつくかどうか。

その濃いファンが
生まれやすいのが、
圧倒的にSNSなのだ。

たとえば、

大手企業でいうと
丸亀製麺やピザハットなんかも
SNSを活用して売り上げを
大きく増加させている。

あの有名なピザ屋さんが
チーズがとろける
アツアツのできたてピザの写真や

SNSがなかったら覗くことすらできないような
人気の商品を作ってできあがるまでの過程を
詰め込んだコアな動画をあげていたり、

コメント欄でユーザーからの質問に
丁寧に答えていたりすると

なんだか好感度が上がりすぎて
他のどんなピザ屋さんよりも
ピザハットのピザを食べたくなってくる。

これを続けていけば
信頼感も上がり続ける一方。

そりゃ売り上げも激増するよね
という感じだ。

これぞファン化戦略だなと思う。

とにかく
あらゆる観点から見ても
ビジネスにはSNSが
必要不可欠なことが
おわかりいただけたらろう。

そうそう。

SNSといっても
それぞれに
機能面の充実度や
画像メインだったり
文字メインだったり、
実名での活動や
匿名での活動であったり…と
さまざまな特徴があるが、

ハッキリ言って
本質さえ押さえておけば
どんなSNSであっても
集客は可能。

集客ができれば
もちろん収益化も可能。

とにかく

“価値のあるコンテンツに
人が集まってくる”

ということを
しっかりと理解しておけば、

どんなSNSであっても
お金が発生する流れを構築できる
というわけだ。

実際にあった
仰天エピソードがある。

知り合いのAさんは
オンライン上で恋愛と人生相談をしたくて
SNSで占い師をさがしていた。

そこで
一番最初にでてきた人に
パッと見で興味が湧いたそう。

プロフィールを見てみると

「おっ？この人長年やってそうだし、雰囲気あるし何かいいなあ…！」

読み進めていっても
それっぽいことを書いていたから、
意を決してお願いしてみることに。

しかし、
その占い師の最近の発信を見て
ひとたび衝撃がはしる。

なんと…

“占い師自体が人生に悩んでいる”

というのだ。

わずか10秒前まで
わくわくしていた気持ちが
一気に撃沈。

一瞬にしてお金を払う気が
消滅したという。

そりゃあ人だから
悩みはあるだろうけど、

表の発信でそんな発言をしてしまうと
信頼を失ってしまいかねない。

つまり、
集客もうまくいかないどころか
ユーザーもどんどん離れていってしまうのだ。

そのほかにも
コンテンツの質は二の次にして
とにかく数で勝負！という感じで
フォロワー集めに躍起になったり、

いきなりDMで
コピペだと丸わかりの
営業メッセージを大量に送ったり…と。

SNSの使い方を
完全に間違っている人たちがかなり多い。

そんな現状を目の当たりにする度に、

「そんなんじゃ集客できるどころか離脱されるのに…」

「奇跡的に集客できたとしても薄いユーザーしか来ないんだよね、。」

「画面のむこうには自分と同じ心をもった生身の人間がいる、ということをめちゃくちゃ軽視してるよなあ。。」

と心のなかでボヤいている。

常にユーザー目線をもち、
お客様ファーストで動く。

いかなるときでも
相手の立場になって考えることさえできれば、
常に適切な価値提供ができる。

画面のむこう側にいる
ひとりの人間の心を動かせるような
コンテンツ作りを心がければ、

自然と集客ができ
あっという間に収益化も
達成できてしまうのだ。

オフラインの人間関係だと
普通にこなせることが、

オンラインになった途端に
自分よがりな行動をしてしまう。

わたしも情報発信を始めたばかりの頃は
この落とし穴にまんまとハマってしまい、
だいぶ遠回りをしてしまっていたが

これが、まあほんとうに
情報発信をはじめたばかりの人に
とにかく多い。

せめて、これを読んでくれている
あなただけは、

昔のわたしのように
余計な回り道や遠回りで
大切な時間を失わないように、
ぜひ気をつけてほしい。

「いまから参入しても遅いのでは...と不安です」という疑問に回答

ここまで読み進めてはみたものの、

「市場が飽和しないか心配...」

「実際いまから参入しようとしても遅いんじゃないかと不安」

「挑戦する人多そうだし、ライバルも増えて大変そう」

など...

そろそろ
こんな声が聞こえてくるかもしれないので

ハッキリと
お伝えしておくが、

結論からいうと

この市場は
飽和することもなければ、

今からの参入でも
まったく遅いことはない。

というか、
あまり大きな声では言えないが...

情報発信をやっている人の多くは
実力がないどころか、
的外れなことばかりやっている人が
かなりの数溢れているのだ。

つまり、
ライバルがいたとしても
かなり弱い。

そもそも
懸念すべき "本当のライバル" は、
実をいうと
「他の発信者」ではなく

ユーザーの彼氏や彼女、
はたまた推しだったりするのである。
(この話はメルマガで詳しく話していきます)

わたしも実際に
ビジネスに興味をもち
情報発信をはじめる前までは、

「どうせ、いまからやっても手遅れじゃなんじゃ...」

とソワソワする気持ちが生まれていたこともある。

ところが
そもそもビジネスというのは、
すでに成功して売れている人から学び
研究することができるため、

思っている以上に
容易に結果をだすことができるのだ。

まさに、

“売れているものにこそ、答えがある”

という感じ。

先人の知恵って、
ほんとうに素晴らしい。

そう
まじまじと感じている。

だって
わかりやすくいうと、

自分の代わりに
先に失敗してくれて

遠回りをしながらも成功への道筋を
示してくれているのだから。

こんなに
有り難い話はない。

たとえば、
料理のレシピなんかまさにそう。

何度も何度も失敗して
ようやく完成した黄金レシピは、
いまやクックパッドなど
ネット上で多くの主婦の役に立っている。

こんなふうに、

「先人の知恵」を借りることで
時間をショートカット
できるのと同時に、
成功までも手にいれることができる。

ビジネスの知識も
スキルもなにもなかった
無知で凡人を極めていたわたしが、
こうやって成功を手に入れたのだから

行動力があって
学習能力が高い人なら、
とにかく
やっただけすぐに結果を出せると断言できる。

それくらい、
SNSの力はすさまじい。

そして
わたしが推奨している
このビジネスは、
一言でいうと

時代を超越するやり方だ。

つまり、
時代に流されることなく
流行り廃りに翻弄されることもなく

『どんな時代であれ通用する』

ということ。

本質をしっかりと押さえ、
価値のあるコンテンツをつくり
集客をし教育をし販売をしていく
という流れは

アメリカ発祥であり、
歴史をたどると
1880年代から長く使われていたりする。

約140年前から
変わらない方法が、
こうして時代を超えてもなお
商売の肝となっているのだ。

そもそも
医療や乗り物や経済は、
時代が変化するごとに
さまざまな形で発達していったが

人間はいつまで経っても
鳥のように大空を
駆け巡ることはできない。

ハリーポッターのように
魔法も使えない。

あたり前だが、
人間自体は進化をすることがない。

つまり、

人は「心」を動かされることによって
「商品」や「体験」を買うのだから、
いつの時代になっても本質は変わらない。

ということなのである。

飽和はしない、と
確信をもって言えるのは

まず、
人は現状維持に身を置く傾向がある
ということ。

世の中のたくさんの人が
現状や仕事や上司やお金や将来に
強い不安と不満をもっているだろう。

しかし、
それも人生だ！
と半ば諦めてしまっている。

友達と会って愚痴を聞いてもらったり、
YouTubeでお気に入りのチャンネルをみたり

そうやって発散することが
日常化しているために、
人生を変えよう...！なんて
頭のなかでイメージすることが
どんどん難しくなっているのだ。

だから
こんな世界があるなんて
知りもしなければ、

知ろうともしない。

わたしのページに
たどり着くこともない。

そんな人がほとんどだからだ。

それに、
もしもたどり着いたとしても
ちゃんと学んで実行できる人はわずか1%

それほどに
人は驚くほど行動できないのだ。

「分かっているのに動けない」
「やろうと思っても後回し」
「とにかく続かない」

実をいうと、
これらはすべて数年前のわたし。

絶対に人生を変えたい！と
心の中からメラメラと燃えたぎっていた
過去のわたしでさえ

まるで金縛りにでも
あっているかのように、
全然行動できなかつた日もあるくらいだ。

それほどに
行動をし続けるって
もの凄いことだし
ずば抜けてすばらしい能力だと思う。

逆をいうと
正しい知識と正しい努力で
行動さえしていけば

「確実に成功を手に入れられる」

ということだ。

こんな感じで、
いままで話してきたことを
正しく実践していく人は、

今後ビジネスに挑戦する人が
どんどんと増えていったとしても
永遠に稼ぐことができるだろう。

仮にいま、
わたしのアカウントが
突然ログインできなくなり
完全にゼロになったとしても

永久的につかえる
ビジネスの正しい知識、スキル、本質を
完全に理解しているから

すぐに月収100万円以上
稼げるようになる自信がある。

たとえ後発組だろうと関係なく

いくらでも芽をだせるし
いくらでも花を咲かせられる

というわけだ。

第3章 「成功している人」が共通して持っているマインドセット

成功までの道のりを圧倒的にショートカットできる方法

成功者や収益を出しつづける人に共通すること。

それは、
圧倒的なマインド力。

「ん？マインドって考え方？」

「ビジネスの進め方？」

と疑問に思う人もいるかもしれないが
ここでいうマインドは、
ただの精神論なんかじゃない。

「心構え」

「スピード感」
「基準値の高さ」
「正しい知識を守って作業する」

などなど。

とにかく
ビジネスを成功させる上で
小手先のテクニックや
ありきたりなノウハウなどではなく

しっかりと
土台があるマインドの方が、
かなり重要なのだ。

ともかくにも
成功者は尋常なほど行動がはやい。

まるで人が
ご飯を食べはじめる頃に、
もう食器を洗い終わっている並に早い。

さらに
基準値もめちゃくちゃ高いから、
そりゃあ先にビジネスをスはじめた人たちを
一瞬でごぼう抜きできちゃうよね…

そう、確信してしまうほどだ。

ちなみに、
どれくらい基準値が高いかというと…

メルマガ40通を3日で書き終えていたり

1日でツイートを200個つくったり

1日でブログ記事を5本更新したり

毎日動画を10本撮ったり

普通の人が10時間かかる作業を、
たった1時間で終わらせたり

決して手抜きなんかせずに
しっかり価値を提供することを重視した上に
スピード感も作業量も
とにかく圧倒的。

優先順位もしっかりとしてるから
娯楽のためにSNSやYouTubeをみて
ブレることもない。

失敗を恐れないから
どんどん行動していけるし
むしろ成長のための失敗はウェルカムだ！

というマインド。

ビジネスはダラダラやっちゃうと
時間ももったいないから...！と、フル稼働。

こんなのどう考えても、
「成功不可避」でしかない。

この基準値を
ボタンひとつでポンッと
自分のなかにインストールできたら
最高だけど、
初心者にはなかなか難しいであろう。

数年前のわたしもそうだった。

そもそもマインドは低いし
行動力もスピード感もなく
できない言い訳もとい、

“やらなくて済む言い訳”

ばかりかき集めていた。

「今日は土日だから休もう」

「今日は少し頑張ったし海外ドラマ見よう」

とか。

成功とは真反対の生活を
していたことがある。

1日1時間作業で
満足したこともある。

いま思えば
「時間もったいな!!!」
となるのだが、

マインドを軽視しすぎていたせいで、
いつの間にか自分のことを
俯瞰してみれなくなっていた。

単純に、
1日1時間を100日やるより

1日10時間を10日でやるほうが
成功に近づくのに

優先順位がめちゃくちゃで
逸れたことばかりしていた。

「令和の虎を観るだけなら
ビジネスの勉強になるし観てもいいよね」

なんて言い訳しながら
スマホ片手に
ソファにごろんと
寝転がったことも何度もある。

いや…

作業！

令和の虎なんていいから！

作業して！

とにかく作業しなよ！

そういまならハッキリと思うのだが、
マインドの重要さや
時間の大切さをほんとうの意味で
理解していなかったから

かなりの時間を無駄にできてしまっていた。

そんな過去のわたしが
半ば強制的にマインドを引き上げる
ことができたのは

“格上の成功者マインドをインストールしたから”

これにつきるのだ。

わたしは今でも
成功者の教材やコンサルから学びまくって
自分の価値観や思考を随時アップデートし続けている。

知的好奇心も爆上げだ。

たとえば
過去のわたしは
かなりの活字アレルギーだった。

いざ本を読もうとすると
さっきまで覚めていた目が
途端にしょぼしょぼ。

そしてすぐに
激しい睡魔におそわれていた。

それほどまでに
読書が苦手だった。

この本を読めば

“確実に人生の肥やしになる！”

と頭では理解していても、

実際には
超めんどくさい…明日でいいや…
となっていていつもダラダラ。

結局、
本の表紙を開くまでに
何時間もかかったり、

さいごまで読み終えるまで
1週間もかかったり…と

とにかくにも
勉強が得意ではないわたしにとって

「学ぶ」ということが
かなりのハードルだったわけだ。

この状態って、
まさに知的好奇心が
絶望的に低い状態。

しかし、
そんなわたしが
マインドを鍛えたことにより

いまでは毎日のように
本を手にとっている。

本以外にも
成功者のブログやメルマガなども
隅から隅まで読み漁り
ストーリーや知識を、
絶えず吸収しているのだ。

「もっともっと知識をアップデートしたい！」

「むしろ知らないことがあると
人生損してる気分だからなんでも知りたい」

そう思えるレベルまで到達できたのだ。

いままでだったら
電車のなかで座って
SNSや漫画やゲームをしていた時間が、

活字を読んで
知識をアップデートする時間
に変わったのだ。

ご飯に行く約束をしていた友人から
「すこし遅れる、ごめん！」
と連絡があった際は、

「お！途中だった本の続き読めるじゃん！ラッキー」

と、こんな感じで
隙間時間を活用できる

立派な自分になれたのだ。
(自分で言うな)

そんな感じで

単純に、
知識があればあるほど

人の役にたてるわけだし、

周りも自分も幸福度がグンと高まって
幸せな人生を歩んでいける。

そういうマインドの基盤が
カチッと自分のなかに
システムとして
組み込まれていけば、

必然的に成功もするし
時間だけでなく
お金も増えていくし、
冗談抜きに生きるのも
マジで楽しくなってくる

というわけなのだ。

上を目指すとキリがないかもしれないが、

そうやって
日々自分の成長を止めないことが
確実にクライアントの力にもなれる。

そして、
価値を提供し続けて

わたしをきっかけに
マインドの重要性に気づいた人が
より幸福な人生を送れるようになるだろう。

「そんなこと自分にできるかな…」

そう心配で頼杖をついている人は
どうか安心してほしい。

そもそも最初から
マインドが高い人なんて存在しない。
(マザーテレサくらいか…?)

訓練すれば後天的に
誰でも鍛えられるものだから、
大丈夫。

ぜひ、
わたしと一緒に
これから鍛えていこうではないか。
(突然の体育会系)

情報に翻弄されないために。成功するためにやるべきことはただ一つ。

この話は、
ビジネス始めたての人にめちゃくちゃ多くて
いずれ壁にぶち当たる可能性があるので
ここで共有しておこう。

成功が遠のいてしまう
一番の原因にもなりうる
意外な落とし穴なので、

ぜひとも最後まで読み進めてほしい。

まず、
この話で重要なのが、
いざ自分でビジネスを始めようとするときに、

良いコンテンツをがんばって探すよりも
1人だけ良い人を見つけたら

その人を
徹底的にストーキングする方がいい

ということ。

「あの人も良いし、この人も良い...新しく見つけた人もいいな...」

となれば、
初心者の頭は
完全にパンクしてしまう。

そうなってしまうと
なかなか深い迷路から抜け出せなくなる。

一度落ちてしまった落とし穴から
ひとりで脱出するのは、
まさに至難の業。

情報を取りすぎて、
処理しきれずに
頭がぐるぐるぐるっと混乱し

“結局なにすればいいんだっけ...”

と本気で分からなくなり、
かなりの時間を失うことになりかねない。

所謂ノウハウコレクター予備軍である。

極論、
なにを取るかより
なにを取らないか

のほうが大事になってくる。

これは、
わたしが毎日インプットをしているなかで
ずっと感じていることだ。

まず
みんなが良いと言っているものは
だいたい良い。

映画や漫画の世界にも
これに当てはまるし、

ネットビジネスの情報発信者にも
ピタッと当てはまる。

わたしは映画だと、

『タイラー・レイク』
『ショーシャンクの空に』
『イコライザー』
『オールドガード』

いま思い出しても
心がグッと震えた記憶がすぐによみがえる。

代表的な好きな映画を挙げるとこんな感じ。

漫画だったら、

『幽遊白書』

『ワンピース』

『きみはペット』

『名探偵コナン』

『ファブル』

こんな感じ。

上げてきたものは、

どちらかと言えば

自分で見つけたというよりは、

わたしが尊敬している人がお勧めしてたり、

親しい友人から聞いたものだ。

わたしは自分でコンテンツを

作っているというのもあって、

面白いコンテンツにはすぐに引っかかる。

チョロい。

良くいえば貪欲だ。

けども、

正直そんなに面白いものは、

そう簡単にぽんぽんと

見つかるものでもない。

本を読んでいても、
めちゃくちゃ良い本に出逢える確率は
そんなに高くないし

どちらかと言うと
圧倒的に捨て本の方が多い。

だからこそ
1人良い人を見つけたら、
完コピするっていうマインドは
情報収集的にも理にかなっている。

1人を追いかけているだけで、

芋づる式に
面白い知識が学べたりする。

だから
この人面白すぎる…と思ったら、
その人の発信を隅から隅まで読み込んでいく。

そうやって、
優秀なフォロワーになっておくと
いいことが結構あるし

確実にビジネス戦闘力も
上がり続ける

というわけだ。

わたしが尊敬している起業家は、

読書を日課にしている

「かなり勉強になるし、めちゃくちゃ心を動かされたな〜」

と感じた瞬間。

「〇〇さんの最新作を読みました。
感想〜〜」

みたいな感じで、
メールアドレスがしれっと
記載されていた場合には

本人に直接感想を送ったりしている。

普通の人であれば
躊躇してしまうところを
彼の場合には
まずそんな考えにすら至らない。

そんなことをする人なんて
99.9%いないから、
どう考えても目立つわけで。
(そんなことされて嫌な気になる人いないよね)

そんな彼の行動に
心を掴まれた著者は

「おっ。ちょっと返事を返してみるか…」

まあこうやって
意外なことに本人から連絡が返ってきて
そのまま食事に行って
仲を深めたりなんてことも度々あるそう。

そうすると、
ぽんぽんとまた
面白い情報が一気に集まる。

情報感度もますます高くなる。

しかも
本人の生の声を聞けるわけだから
書籍の何十倍ものかたちで臨場感が増す。

いやぁ…すさまじい行動力(尊敬のまなざし)

そんな感じで、
こういったマインドの持ち主を
徹底的に追いつづけていくことで、

その人の思考が自然とインストールされ

自分の人生も
昔とは比べものにならないほどに
好転していくのだ。

そうそう。
巷にはノウハウやスキルだけを語っている
量産型の発信者がかなり多いが、

正直いうと、
埋もれまくっている。

なぜかというとな...

「この人じゃなくても、他にも似たようなこと言ってる人いるよ～」

と、ユーザーは一瞬で感じてしまうからだ。

ユーザーは思った以上に
見抜いている。

そうじゃなくて、
独自性があったり
心を動かされるようなストーリーがあれば

頭に汗を書いている感じのコンテンツ
(心を込めてしっかりと作っている)

ということが
しっかりと伝わるし、

普通に好きになる。

勉強になるし。

気づけば、

「あ、ファン化してしまった...」

という感じだ。

だからこそ、

ダイヤモンドの原石を探すよりも、
まずはダイヤモンドを見つけること。

1人を信じ、1人から学ぶこと。

その尊敬するダイヤモンドとなる人から
ビジネスのみならずあらゆることを
学んでいき、しっかりと真似る。

そして、
自分も輝くような
ダイヤモンドを目指して行く。

その結果、
気づいたときには
自分の周りに
キラキラと輝く原石が集まってくる。

こんな状態を
ぜひ目指していこう。

そういうこともあって

わたしのマインドは、
尊敬している人の
尊敬して止まない部分が
これでもかってぐらいに沢山入っている。

それが血になった証拠だと思うし。

一刻もはやく
成功を掴みたくて
お金も時間も投資している分
血になっていないと困るけどね。

こんなふう
1人の人間を追いかけると
なんだかストーカーのようで
気持ち悪さを感じる人も
いるかもしれないのだが、

実はビジネスや知識を得る世界では、

ストーカーが正義！
といたりもする。

もちろん、
リアルで人をストーカーしたら
めちゃくちゃ怖いし迷惑だし
そもそも犯罪だから捕まるけど、

たとえば
先述した起業家の話で、

著者の本を買いまくり
ノリで感想を送ったら、
めちゃくちゃ感謝されて感動されて

場合によっては
食事も行けて新たな事業にまで繋がるなんて。

どう考えても
良いことばかり。

だって、
その起業家が何十年と生きてきて
学んできたことを
ちょっとした投資で得られるんだから、

この先のながい人生を考えてみても
本当に得だなと実感する。

ちなみに、

これわたしも経験があるのだが

いざインターネットを使って
自分で一から努力してがんばろう！

「よっしゃー！やってやるぞー！」

と意気込んで
まだ見ぬ理想の未来に
胸をふくらませているときに、

「ネットで稼ぐとか無理でしょう笑」

「そういうの警戒するなあ...やめたほうがいいよ」

「え～？大丈夫なのそういうの？心配だわ～」

と、言ってくる人たちがいる。

心配して伝えてくれている
気持ちもすごく良くわかる。

わたしも、
この世界を知らなかったら
きっと大切な人に
同じことを伝えていたと思う。

だけど、
そう感じる一方で

悲しくて悔しい気持ちを感じている
自分も確かに存在している。

もちろん、
気軽に言ってくる人や
わざと傷つけたくて言ってくるような
人たちも
少数派だがいるのは事実。

そういうのを
瞬時に見抜いたときには

人の人生に口出しするなんて
毒親みたいだわ...

と顔がゆがむ。

こんなふう
に人が真剣に取り組んでいるのに、
釘をさしてくる人たちがいる。

そんなひとたちの対処法は無視すること。

あなたの大切な人生の舵をとるのは
その人ではなくあなた自身なのだから。

こういった所謂
ドリームキラークラスと過ごしていたら
人生は開花しないどころか衰退してしまいかねない。

どの時代どの世界にも
必ず存在する
ドリームキラークラスというのは、

『自分が何もしてないっていうつまらない状況を正当化したいだけ』

なんだから。(ふう…)

3ヶ月猛集中して残りの人生をラクに。最短で人生を変えるには

『短期集中！』で
有名な成功者といえば、
あのかの有名な
「ソフトバンク」の孫社長。

実は彼、
学生時代にわたしも
かなりお世話になった
あの「電子翻訳機」の
発明者なのである。

「電子翻訳機」を考えついた彼は、
その足ですぐに技術者に製造を依頼。

試作品が出来上がると、
自らシャープに持ち込み
あれよあれよという間に、
そのまま
とんとん拍子で販売へ。

す、すげええ…。

行動力、
光の如し。

で、
利益はなんと1億円。

学生時代にこれは、
さすがにエグすぎるぞー、

まあ、
こうして彼は
短期集中することで
1億円を産んでいたのだが、

何が言いたいのかというと
こんな感じで
起業の世界であれば、
3ヶ月もあれば十分に
稼ぐことができちゃうのだ。

しかも、
それがSNS起業なら尚更。

正直言ってしまうと
早い人なら、たったの1ヶ月で
人生を丸ごと
変化させられるくらいの
破壊力があるのが、
この「SNS起業」なのだ。

わたしも
これまでに

摂食障害を
わずか2ヶ月で克服したり、

コンテンツビジネスを
3ヶ月で成功させてきたり…と

これまで、
数ヶ月単位で
人生に様々な変化を与えてきた。

正しい方向性と正しい知識
という土台のもと、
スピード感を意識すれば
3ヶ月で全てを変えられる。

いつまでもダラダラ
3、4年頑張り続けるよりも
パッと3ヶ月でやり切った方が、
どう考えても効率的なのだ。

一般企業の場合は、
1年目から2年目。

3年目から4年目…
さらに毎日働き続け、

それをひたすら繰り返しては
ようやく5年目。
そして、
10年、15年、20年…と積み上げていく。

その度に、
月給は少しずつだが
上がっていくなかで
そのうち役職にもついたりするのだろう。

だが、
こちらの世界は
まるで違う。

すべてが、
別世界すぎて
言葉を失うレベル。

3ヶ月で人生は激変し、
月収は、たったの1年で
3倍にも5倍にもなる世界。

もちろん、
価値提供を疎かにせずとも
スピード感をもって
最速最短で成果をあげられる方法などは
わたしの方でしっかりと
今後レクチャーさせていただく。

神速で
鰻登りに躍進しつつ、
一生遊んでいても余裕で暮らしていける生活を
一日も早く手にするためにも、
SNS起業の世界を知り
スピード感を大切に取り組んで行こうじゃあないか。
(謎の体育会系再び)

こんな感じで、

こんな調子のわたしだけど
懲りずについて来てくれたら
嬉しい。(照)

お金が原因で不幸になる人生から決別し、幸せな日々を送るために

「りさとちゃん、知ってる？
貧乏人がもつ悩みの99%はね、お金で解決できちゃうんだよ。」

ある日、突然投げかけられた
例の旅人からの唐突な言葉にびっくりして
わたしは思わず聞き返す。

「え、99%？それってほぼ全部ってことですよね！？」

彼は一呼吸おいてから…
こう続けた。

「うん。ちょっと乱暴な言い方だけどね。」
「聞く人によっては嫌な顔をする人ももちろんいる。」
「だけど、これは僕たちが今生きている資本主義社会の真理なんだよ。」

そうなのか…。

確かに彼の言っていることは理解できる。

だけど、わたしは
皆同じ人間である以上

「お金がないという理由で不幸にならざるを得ない」人がいる
というのは、

絶対に間違っていると思う。

ましてや
お金がないという理由で
自らの命を終わらせるという
選択をしなければならない人がいるなんて
200%おかしい。

だって、
わたしが現にそうであるように
現代はネットの力を最大限駆使して
正しく勉強し
正しく行動すれば、
どんな現状の人でも
お金は稼げるわけなのだ。

ほんとに
知ってるか知らないか

の違いは果てしなく大きすぎる。

だけど、
やっぱりこの「資本主義社会」に
生きている限り、

お金の問題は
否が応でも必ずついてまわる。

生まれてから
この命が尽きるまで
ずっと付きまってくる。

「世の中お金よりも大切なものがあるでしょう」
「お金じゃ買えない幸せに気づけないなんて…」

なんて声も聞こえてきそうだが、

わたしは何も拝金主義者であれ
とは1ミリも思っていない。

ただ、この社会に生きている以上は
現実を受け止めた上で、
(受け入れなくていい。無理に受け入れようとするから
苦しくなって生きづらさを抱えちゃうのよね…切実)

ただ「そっか。」って知った上で、
この現実を
理解しなければいけないなと思っている。

生活していくだけでも
お金がかかるのは至極当然のこと。

たとえば、急に職を失って
今まであった収入がパッタリと
途絶えてしまったら、

必要最低限の生活すら
難しくなる。

それに、
お金がなければ
いざというときに
お金よりも大切な存在を守れない。

これほど、無念なことはない。

これは、
聞きたくない現実かもしれないが…

もう今の時代、
2000万の貯金があったところで
最後まで生きることができない。

9桁あって
やっと…といったところ。

わたしには、
お金よりも大切なものがある。

お金がいくらあっても
絶対に手にすることのできない
かけがえのない大切な存在が
たくさんいる。

自分の命をかけてでも、

守りたいもの。
失いたくないもの。

だからこそ、
何か起きたときには
わたしが守らなきゃと胸に刻んでいる。

お金がないことで
守れないもの
失うものがあるなんて、

そんなの最悪すぎて
考えたくもない。

涙が枯れるまで
泣きまくったとしても、
しぬまで一生
後悔し続ける人生。

そんなのわたしは鼻っから望んでいない。

そんなことを考えてみても、
「いつか稼げればいいかな」
そうやって昔は思っていたが、

それって結局は
現実（お金の問題）から
逃げてるだけだし、

あと5年後か10年後

結局ぶち当たる壁（問題）なのに、
嫌なことに蓋をして
後回しにして忘れようとしてるだけ。

そうじゃなくて、
どうせいずれ困ったり
お金がない絶望に苛まれるんだったら、

まわりの誰よりも早く
現実を受け止めて、
コンテンツビジネスを使って
解決してしまえば、

この先ずっと
お金の悩みで頭が痛くなることが
一切なくなる。

家族や大切な仲間、親友
恋人、愛犬に
なにか大きな問題が起こったとき、

いつでも大切な存在を
自分の手で守れる。

お金がすべてじゃないのは
もちろんだけど、
人生の幸福度は
間違いなく上がる。

それには、

なんと言っても
この
『どんな時代になっても
このスキル・知識・マインドさえ持っていれば
いつでもどこでもお金を稼げる』

という
確固たる誇りがある人は
最強だ。

今の時代、もう会社・組織には
頼りきれなくなっているし
他者に依存せず個人の時代になるから。

先述したように、
ある日突然クビになったり
体調不良で働けなくなったりして
パツタリと収入が途絶える…なんて
普通に起こってしまう世の中。

だからこそ、
このスキル・知識・マインドを
手にしてさえいれば

控えめに言っても
史上最強なのだ。

たとえこの先
貯金がゼロになったとしても、
3ヶ月もあれば
月収100万とか普通に稼げてしまう。

100万どころか、それ以上
余裕でお金を作り出せる

というわけだ。

こんなにも
膨大な安心感を感じることは
人生で数えるほどもないだろう。

…と、
ここまで熱く語ってこれたのも
わたしが実際に
これらの『痛み』を
身をもって経験してきたからこそ。

コンテンツビジネスで
成功を収めるなかで、
ひとつずつお金の問題を
解消していく…。

そうすると

今度は、
もっと深いところにある景色、
本当の富や幸福について
知ることになる。

ここまで綴ってきたように…
わたしはインターネットを使った情報発信で
成功を手に入れ、自らの人生を180度変えてきたが、

もともとは自信なんてゼロ。
ゼロどころかマイナスだった。
あんなに人生に絶望して、
希死念慮に苛まれ続けていたわたしでも
ここまで這い上がってきた。
しかも、
こんなにも短期間で。

わたしには、
まだまだやりたいことや
新しく取り組んでみたい事業
とにかく挑戦したくなるような
ワクワクすることが
たくさんある。

そして、
過去のわたしと同じように
辛い人生から抜け出して
本当の幸せを手にする起業家が、
これからもっと増えてほしいと
切に願っている。

そうすることで、
この国の未来が
ひとつでも多くの光で
温かく照らされるのなら…
これ以上嬉しいことはない。

いつか
そんな幸せな起業家になった
あなたと一緒に事業ができる日を
密かな楽しみにして…

わたしは今日もPCのキーを弾く。

「凡人からのSNS起業革命」を、
最後まで読んでいただき本当にありがとうございました。

おわりに 著作権について

—著作権について—

本書籍「凡人からのSNS起業革命」の利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

本書籍に含まれる一切の内容に関する著作権は、書籍作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、本書籍の全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行なった場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず、法的責任を負うことがあります。

書籍作成者は、本書籍の内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。

また、この書籍に含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を追わないものとします。

本書籍の使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。